

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	等価線形化法に基づく耐震性能評価指針作成小委員会	主 査 名：勅使川原 正臣 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	委員長名：緑川 光正 主 査 名：塩原 等
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>応答スペクトルを用いた鉄筋コンクリート構造の耐震設計・性能評価に関する既往の研究の調査・分析および技術のとりまとめならびに耐震設計・性能評価指針・同解説の作成</p> <p>初年度：耐震設計・性能評価指針の原案作成 2 年度：耐震設計・性能評価指針の本文原案作成 3 年度：耐震設計・性能評価指針の本文の検討、解説原案作成、PD の開催 4 年度：耐震設計・性能評価指針の本文・解説案作成、出版準備</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：勅使川原 正臣 (名古屋大学) 幹事：楠浩一 (東京大学)、塩原等 (東京大学) 委員：河野進 (東京工業大学)、市之瀬 敏勝 (名古屋工業大学)、加藤大介 (新潟大学)、倉本 洋 (大阪大学)、前田匡樹 (東北大学)、福山 洋 (建築研究所)、稲井栄一 (山口大学)、田才晃 (横浜国立大学)、壁谷澤寿海 (東京大学)、平石久廣 (明治大学)、北山和宏 (首都大学東京)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>等価線形化法に基づく地震応答評価法WG：応答スペクトル法における建物の応答評価方法について検討する。</p> <p>等価線形化法に基づく耐震性能評価指針原案作成WG：指針原案を作成する。</p> <p>等価線形化法に基づく耐震性能評価指針設計例作成WG：指針に基づく設計例を作成する。</p> <p>梁柱部材性能評価WG：RC 梁・柱部材の耐震性能評価手法を提示する。</p> <p>壁部材性能評価WG：RC 壁部材の耐震性能評価手法を提示する。</p> <p>柱梁接合部性能評価WG：RC 柱梁接合部の耐震性能評価手法を提示する。</p>	
2014 年度予算	780,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD：既存中層鉄筋コンクリート造建物の等価線形化法を用いた耐震性能評価法 (既存中層 RC 建物の耐震性能評価小委員会と共同) 『構造部門パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 190 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 耐震性能評価方法の方針およびばらつきと安全率の関係の検討、本文案と設計フローの検討を行った。
委員会活動の問題点・課題	特になし